

【第 10 回】講義概要紹介 12 月 16 日(火)

■ 講師

【略歴】

昭和 57 年	高松市出身
平成 19 年	香川大学大学院 卒業
平成 19 年	奈良電機重工株式会社 入社
平成 28 年	同社代表取締役社長に就任

【講師紹介】

大学では画像情報によるロボット制御の研究を行い、国内外における学会発表は 30 回以上、学会誌への掲載論文は 3 本と研究に没頭しました。

大学院を卒業後、家業を継ぐために入社し、電気工事の下手間作業から始まり、FA 設備の電気・制御設計、営業活動と会社に関わる全ての業務を経験して社長として会社を引き継ぎました。

京セラの創業者である稲盛和夫氏の経営哲学を学び、従業員を含め弊社に関わる全ての人に幸せになってもらうために、その学びを実践しています。



奈良 俊介

(なら しゅんすけ)

奈良電機重工株式会社
代表取締役社長

【奈良電機重工株式会社について】

1946 年に香川県の飯山町で祖父が創業し来年で 80 年を迎えます。

当初は家庭用の電気配線工事から始まりましたが、現在は四国電力の設備保守や、全国の様々な工場の自動生産設備の制御設計から制御盤製作、電気工事まで一貫して対応できる体制を強みとして全国様々なお客様より頼りにされております。

「全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、企業の成長を通じてより広い社会に貢献する」という経営理念のもと、仕事に対する考え方を重視した従業員教育を行っており、そのような従業員の姿勢を認められ最近では国内大手企業様より表彰をいただけるような活躍をしています。

■ 講義概要

成長フェーズで変わる経営課題と実践の軌跡 —地味な努力を続けていく大切さ—



この講義では、奈良電機重工が売上 2 億円・従業員 20 名から、売上 10 億円・従業員 50 名へと成長する過程において、どのようなことを実践したかを説明させていただきます。

組織規模の拡大に伴い変化する戦略、人材育成、組織づくりの実践事例を通じて、成長を持続させるための経営を考えます。